

第2回 富岡シルク 手編みニット展

2023.2.8 WED. ~ 2.21 TUE.

富岡製糸場 国宝 西置繭所 <多目的ホール>

～ふわふわシルクでふわふわニット～

[主催] 一般社団法人富岡シルク推進機構

[後援] 富岡市

- *スペースをとり密にならないようご観覧ください。
- *展示は番号順ではなく参加部門ごととなっております。
- *展示作品にはお手を触れないでください。
- *コンテスト投票とアンケートにご協力ください。
- *その他、係員からご協力をお願いをすることがあります。

【参加部門】 ①ストール・ショール ②ファッション ③あみぐるみ ④雑貨

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
1	母のための ショール、ストール	西本 朋子	①	1カセ ダルマシルク	昨年、母が足を骨折し、車イス生活になりました。なかなか外出することが出来ません。春になって暖かくなったらお出かけしたいと思い作りました。肌寒い時にはショールまたはストールとしておしゃれして欲しいと思います。シルクの美しさ、肌ざわり、ぬくもりを感じてほしい。お花の好きな母なので、バラのブローチを付けました。
2	蔦スヌード	坪川 佳子	④	1コーン ノルディックウール、フェザーヤーン、繭、きびそ、ナイロン、モヘヤ	うろうろしながら蔦を歩く熟蚕、早々と繭になった個体、足場や羽毛さえ愛おしくて回転蔦のようなニットスヌードにしました。繭毛羽のような糸を作りたくて、ノルディックウールのロービングを、極細のフェザーヤーンで挟んで撚糸し、これに上州座繰り絹糸を引き揃えて、ふわふわのなかにきらりと反射する繭糸の美しさを再現しました。蔦のようにワッフル編みをし、そこに幼虫と繭を付けました。幼虫の胴体は上州座繰り絹糸、顔の部分はウールです。最後の幼虫の尾脚だけがスヌード本体に付いており、あとは自在に巻き付けて遊べます。繭は蛹を取り出したものに上州座繰り絹糸をランダムに巻き付けた後、数本で足場のようスヌードに付けました。
3	ベスト	坂下 律江	②	1コーン	自分の技術の範囲内で、普段使いとして身に纏えるものを編みたいと考え、着用頻度の高いベストを編みました。絹で編む不安があり、ウール糸で試作してみました。絹糸の光沢、艶、柔らかさを生かして編めていたら嬉しく思います。
4	~fluffy~	massan	③	1カセ・1コーン 目玉パーツ、綿、つけまつ毛、台座	テーマにあるように、白くふわふわなたかみのあるあみぐるみを目指しました。シルク本来の綺麗な色を生かし、ぬくもりが感じられるような動物として『アルパカ』を選択しました。親子の寄り添った温度の感じが出るように表情にもこだわりました。苦労した部分はアルパカの毛並みの表現、本体を編み上げてから1目ずつ、フリルのように編み込み装飾していきました。口元のシルク糸はコーヒーと紅茶をブレンドし、3度程染色して使用しております。100%富岡シルクで作りました作品となっております。どなた様かの目に留まり、私の作品への気持ち伝われば良いと思っています。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
6	お花畑のふわふわ ルームシューズ	渡辺 友美	④	2.5カセ(きびそ+ 座繰り)	きびその素材感を生かしたいと思ってたどり着いたのがルームシューズでした。棒針編みで本体を編んで、かぎ針編みのお花をたくさんつけました。全部きびそで編みたかったのですが、糸が足りなくなり、お花は主に上州座繰り絹糸のきなりとグレーを使っています。今年は全国的に節電が叫ばれるなか、私も雪国でありながら暖房の設定温度を1度下げました。このルームシューズが大活躍することを考えながら編みました。
7	春のこもれび	瀧 優香	④	1カセ リッチモア モヘア	さくら色のグラデーションモヘアと絹糸を引き添えて土台を作り、その上にいろいろなモチーフを配置しています。咲き誇る桜の木に、ひらひらと舞い落ちた雪？花びら？をイメージしていただければと思っています。今年の絹糸と少し黄みがかかった昨年の絹糸が、微妙なニュアンスを醸し出してくれています。繊細な絹糸で、少しでも手が荒れていると引っかかるので、手のお手入れをしながら丁寧に仕上げたティベット(飾り衿)です。
8	バラのコサージュ ネックレス	ロマン ティーク	④	1コーン	前はボリュームを出すために2本取りでバラを編みましたが、今回はリアルさにこだわって初めてのレース針に挑戦しました。(レース針6号1mm) 花びら1枚1枚を円形モチーフで作り、本物のバラの構造のように、中心から螺旋状に組み合わせながらとじつける方法を知り、実践しました。中心部は円形モチーフを中表に、外側は外表にすることにより、カップ咲き(花を横から見た時にティーカップのような形をしている咲き方)のバラを表現することが出来ました。全体的にアンティークな雰囲気にするため、ネックレスにはシャンパンゴールドのガラスパールとクリスタルオーロラのガラスビーズ、パールのビーズなどを使用し色味を抑えています。
9	未完成 ～育てるインナー～	amiami- tefufu	②	きびそ1カセ、座繰り1コーン	長野県岡谷市との姉妹都市50周年を記念して岡谷シルクと合わせました。編み機特有の編地「スレッド編み」のインナーです。きびそと交互にハーブティーで染めた岡谷シルクを上州座繰り絹糸で挟み込みました。スレッド編みは、裏側を表に使用することが多いですが、きびその柔らかさを肌側にしました。きびそと岡谷シルクの横糸が毛羽立ち、編地の隙間を埋めていくにつれ完成に近づきます。横の伸縮性がなくアウターやバッグに利用するのが適している編地のため、模様を変えるか編み方法を変えるか迷いましたが、縦に伸ばして横糸をわざとたるませることで毛羽立ちしやすくなるのではと着るのが楽しみです。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
10	「美術九重編造花松の巻」より 水仙、サフラン、松竹梅、紫繡毬、金絲桃	宮内 泉	④	1コーン フラワー用針金 膠、フラワーア ートチューブ 絹穴 糸、ウインザーア ンドニュートン水 彩絵具	「美術九重編造花」明治時代、一世を風靡した美術九重編造花の再現、勉強をしています。現在と違い当時の言葉で書かれている原文を読み、まだ編み記号や編み図もなかったので一緒に描かれている挿絵を見ながら編みました。 特徴的なところは絹糸で編むこと、他には ・花びら、葉に針金を編み入れながら編むこと ・当時珍しい西洋の水彩絵具による染色、色の定着と形保持の為に膠(にかわ)を使用 ・ゴム管(フラワーアートチューブ)を用いて仕立てをまとめている所 絹糸で編むことにより、染色した時の発色の良さと光沢はとても素敵です。
11	シルクの花嫁	おはなドットコム	③	2カセ ハマナカラメ糸 (ティアラ)、リボン(ブーケ)、レース(ベール等)、 チュール(パニエ)	「絹糸」と「きびそ」、どちらも魅力的で両方の良さを引き立てるようなあみぐるみを作りたいと思い、『シルクの花嫁』を制作しました。くまのあみぐるみを「きびそ」、ドレスを「絹糸」で編みました。同じ白でも絶妙に色味や光沢が違い、2種類の糸の特徴を活かすことが出来たのではないかなと思います。シルクの「白さ」を消さないようにあまり他の素材を使わないようにしました。その中でもティアラやブーケで少しだけ色を使って、華やかさを出したところがポイントです！
13	モチーフつなぎの プルオーバー	杉山 小夏	②	2.5カセ	季節問わず着られるよう透かし編みのモチーフをつないで作成したプルオーバーです。袖と胴体で同じ枚数のモチーフをつないでいるため、袖がゆったりめのパフスリーブになっています。そのため、引っ掛かりやすくなっていますが、見栄え重視です。
15	連続花モチーフの マフラー	田中 貞子	①	きびそ2カセ	今回は『きびそ』の糸を使わせていただきました。今まで編物や着物の着付に携わってきましたが、『きびそ』という糸に触れたのは初めてでした。とても風合いが良いのですが、太い部分と細い部分の差が大きいには驚きました。肌触りのよさを生かしてマフラーを編んでみました。とても大変でしたが、風合いのよい肌触りのよい作品に出来たように思います。
16	亀の親子	遠藤 紀美枝	③	1コーン	親の背中に子を乗せて―― 親子亀を作ってみました。今は子供におんぶされるような年齢になってしまいましたが、亀のようにゆっくりこれからの人生を送りたくて作ってみました。
17	さざ波ふわふわ	新 幸子	②	1コーン きびそ2カセ ニッケピクター毛 糸シルク、ウール、 アクリル混 30g、ビーズ	シルク展の案内にあった「きびそ」を見て、編んでみたい、と思いました。裾、袖、衿はストレートなシルクで上品に。身頃はきびそで変化をつけました。裾、手首のフリルは思った以上に波型になり、自分でも感動しました。作品名は、出来上がったものを見て思いつきました。シルクで編んでいる緊張感もありましたが、とても楽しく作製できました。無事参加できてよかったです。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
19	ハンドウォーマー (指なしミトン)	ウチアム	④	1カセ 一部モヘアを引き 揃え	『ワンダーアフガン』(日本ヴォーグ社刊)という本の編み図を参考にシェル模様のアフガン編みでハンドウォーマー(指なしミトン)を編みました。アフガン編みのメリヤス編みと長編みの模様なので、厚みがあり、シルクですが温かい着け心地です。指先側にモヘア糸を引き揃えて色を足しました。きびそ(カセ)を使ったので、太さが均一ではなく毛玉ができています。
20	きびそを纏う	飯野 智子	①	きびそ1カセ	ふあふあシルク、ふあふあニットーこれ程究極な糸はない。その希少な「きびそ」でネックウォーマーを。市松模様編機でシンプルに仕上げ、やわらかさ、強さ、心こめて編みました。
21	すずらんショール	阿部 智子	①	1コーン	初めて触ったシルク糸はつやつやで綺麗で、でもとても細くて、作品に仕上げられるか不安でした。そして、この糸の細さを生かしてジェットランドレースのショールに初挑戦することにしました。しかし、いざ編み始めると糸は滑り、いつの間にか目が落ちてほどけてしまったりして、やり直すこと5回目にしてようやく形にすることができました。完成してみると技術的にはまだまだ拙くて、色々と気になる点もある作品ですが、無事完成したということ自体がとても嬉しく、そしてシルクという素材のお陰で編地が美しく触り心地もよく軽い仕上がりになりました。苦労したけど、このショールにしてよかったと心から思いました。
22	アクセサリーの花	南部 美恵子	④	きびそ7カセ ラメ、モヘア、ナイロン糸少し	富岡シルクの糸は染めることによって宝石の様に光沢があり、その美しい糸で今回はアクセサリーを作りました。ブローチ、ネックレス、イヤリングetc...30点を“アクセサリーの花額”にしてみました。お出掛けの時、鏡の前でお似合いのアクセサリーを付け華やかに着飾り、お帰りには元の場所へ戻してあげる。時々新しいお花に入れ替えて。染には赤ダイコン・青じそ・ドラゴンフルーツ・紅茶・玉葱・リンゴなど台所の食材を使い、青と緑は市販の染め粉を使いました。きびその太い糸で古風な花瓶を編んでみました。花芯のネックレスを中心に、散歩しながらスマホで写真を撮り、デザインして花を編みました。花瓶に生花を挿すように色彩や形にこだわりました。
24	月の光	芝 裕子	④	きびそ1カセ 1コーン 蓄光、糸、ビーズ	月夜に光るキノコたち。昼夜の変化が神秘的なキノコたちを小さな箱の中に詰め込みました。 明るいときと暗いとき。ふたつの場面を楽しんで頂けるようなオブジェに仕上げました。 キノコ部分はシルクのツヤを損なわない様、細い蓄光糸を添え、ビーズを予め通した状態で編み込みながら作成しております。きびそで編んだ木肌の風合いが絶妙でとても気に入っています。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
25	お出かけセット	星野 徳枝	④	きびそ3カセ	2回目の今回は『きびそ』に挑戦しました。糸の太さが一定ではなく、ブークレのようでふんわりとしたネップの部分が可愛いので、いつも気軽に身に着けられるものと思い、ネックウォーマーとハンドウォーマーをセットに編みました。4号の輪針で、3カセ使用しました。 生成りの色はどのような服とも合います。また、自分で編んだ「世界に一枚のもの、私にとって高級なもの」と寒い冬の外出でも幸せな気持ちになれます。春先までも活躍してくれそうです。
27	マーガレット	小林 由加子	①	3コーン、リボン	夏に、タンクトップの上に羽織るマーガレットを編みました。袖はリボンを替えたり、緩めたり、絞ったりすることで、色々楽しむことが出来ると思います。本体は四角く編むだけなので、編物をした事がある人ならば誰でも作ることが出来る作品だと思えます。糸そのものが美しいので単純な模様にしました。
28	セーター	café101	②	2カセ、カシミア	“いちばんよくわかる棒針あみの基礎”(日本ヴォーグ社)に掲載されている風工房さんデザインのセーターです。富岡シルクとカシミアを引き揃えて編みました。良質な糸で、シンプルで長く着られるものを編みたいという思いを十分に叶えることが出来たと思います。
29	三角ショール	栗山 良恵	①		SNSで富岡シルクニット展について知った時は“面白そう！”と軽い気持ちで応募しました。糸が届いてその美しさに感動、そして後悔。私に編みこなせるかしら…。糸の魅了を損なわずに編む自信がなく、せっせと糸を作ってくれた蚕さんに申し訳ない…。初めに考えていた凝った模様を大幅に変更し、簡単なデザインにしました。編み始めた時はまだ暑さの残る時期でしたが、秋から冬に向かうにつれ手荒れがひどくなり、繊細な糸が手に引掛かり大変難儀しました。仕事や家事を終え、夜更けにせっせと編むのはとても楽しい一時でした。完成して送り出した時は、巣立つ我が子を見送るような何だか嬉しくて寂しい心持ちがしました。
30	ベスト	細渕 邦江	②	3コーン	昨年出品者の作品を見まして、それぞれ素晴らしいと思いました。今年、先生からのお誘いもあり挑戦してみました。多少編みにくい点もありましたが、絹のふんわりとした美しい光沢は編んでいて胸が弾みました。私にとって記念となる一枚が仕上がりました。
31	ふんわりあったかストール	蜜月 ミク	①	1コーン きびそ2カセ ダイソー「カラフルシャワー」6玉	「きびそ」の特徴と上州座繰り絹糸の特徴を活かして、お蚕様が花畑で飛び回り遊ぶイメージと、温かみがありふんわりと包み込む感じをイメージしてこの編み方を作って編んでみました。最初に「きびそ」を2カセ使い、次に絹糸を1コーン鎖編みしてからダイソーの「カラフルシャワー」を合わせて編み、次に「カラフルシャワー」だけで編みました。絹糸を鎖編みしてから「カラフルシャワー」と合わせて使ったのは、絹糸をそのまま「カラフルシャワー」に合わせると絹糸が分からなくなるので、鎖編みしてから太さをかえて使用しました。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
32	鳥獣戯画	ケロ蔵	③	2コーン	富岡シルク2本取りで鳥獣戯画のうさぎとカエルを編みました。うさぎのほうはシルクそのまま編んでいますが、カエルはボディを「コールドアイホット」という染料で染めています。糸を染めるのは初めてでしたが、染料を混ぜてカエルっぽい色が出せたと思います。樹脂のワイヤーと手足に磁石を入れているので、ある程度ポーズをとることができます。 賭弓(のりゆみ)と言われる場面を再現できるように弓も作りしました。弓もシルクで巻いてあります。つややかで手触りのいいあみぐるみが編めました。
33	流れる絹髪	まるみ	③	きびそ1カセ 昨年の余りのコーン巻	人魚です。エビフライの精になってしまいましたが人魚です。きびその髪がつややかで良い感じに仕上がったと思います。絹糸をあみぐるみにする機会はそうそうないので、新鮮な気持ちで取り組みました。
34	丸ヨークの プルオーバー	久保 友里	②	4.5コーン	シルク糸初挑戦、メッシュワーク、機械編みは2回目での作品となるので、仕上がりの出来栄えより、シルク糸のそれぞれの編み方による表情・風合いを1着で表現できる作品にしました。 メリヤス編みは機械編みの2本取りで、数万程度の編み機でも細い糸を2本にすることで作品に仕上げることが出来るのを証明。 メッシュワークはお花をかぎ針1本取りで富岡シルク本来の糸の太さ・やわらかい風合いを再現し、葉の部分はかぎ針2本取り使用で1本と2本の時の光沢の違い、仕上がりの違いをわかるようにしました。 デザインは丸ヨークにしたことで袖つけを無くし、簡単に仕上げられ、袖にボリュームを持たせ女性らしさをアピール。初心者でも根気があれば、仕上げられる作品を提案しました。
35	フィンガーレス グローブ (ウェディング用)	のな	④	1コーン	ウェディング用のフィンガーレスグローブを娘のためにタティングでつくりたいと思って参加を決めました。パールを使うことは決めていたのですが、デザインが決まらず、時間がかかりました。絹糸でのタティングは大変でした。
36	ショール	犬飼 恵	①	2コーン シルク糸(ピンク)75g、天然石 ビーズ51個	『毛糸だま』日本ヴォーグ社 2021vol189「春号」P32編み図参照 白い色は富岡シルク90g使用 ピンクの糸は手持ちのシルクの糸をカセの状態、ハイビスカスティーで染めたもの75g使用 孔雀のようなイメージの模様を参考にアレンジしました。 着物を着て出かけることが好きなので、どんな着物にでも合わせやすいようなショールを、淡い色合いで、しかもゴージャスに見えるようにビーズをつけてみました。
37	三角モチーフの ドイリー	kms	④	1コーン	参考書籍：モチーフ模様編み集(文化出版局) 三角モチーフを繋いで六角形のドイリーを編みました。編み物歴自体が短く、こんなに細い糸を編むのは初めてで最初は何度もやり直しました。ちゃんと編めているのか不安ですが頑張りました。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
38	シェットランドレースのストール	池田 節子	①	1コーン	富岡シルクはふんわりと美しい光沢なので、一度編んでみたかったシェットランドレースのストールを編むことにしました。初めて編む100%シルク。目を落とさないようにひと目、ひと目、ゆるまないように緊張感いっぱい編みました。編み始めの模様と編み終わりの模様を同じに見せたくて、メリヤスはぎをしました。シルクは肌になじむので、冬でも夏でも、衿元に長く愛用したいです。
39	鶴	權 あおい	③	1コーン あたかもシルバー(knittingbird)、メタリックミシン糸 3号ゴールド(FujiX)	かせになった糸をほどく、かせくり器から着想を得てかせくり器の中で鶴が飛びまわる様を表現してみました。鶴はかぎ針で編み、かせくり器は紙製ストローと木綿糸、ワイヤーで作りました。土台部分の糸巻きは木片を組み合わせて作りました。糸が巻かれていく様子を楽しんでいただけたら嬉しいです。途中、鶴もお手伝いしています。
40	蚕と桑の葉のドイリー	あみあみ工房鯨骨堂 梶山 素馨	④	1コーン	蚕の幼虫(終齢)、成虫の画像を観察してスケッチをする所から制作を始め、いかにリアルに蚕を再現するかに拘って編み図を起こし、編み進めました。終齢幼虫の眼状紋、星状紋も表現し、一匹一匹を違うポーズに仕上げました。成虫も、胴体の節の数、鱗粉が何層に分かれているか等、出来るだけリアルに表現しました。桑の葉の型の表現は、編み始めてみると意外と難しく、苦戦しましたが、一筆描きで編んでいます。 蚕の画像は「silk worm Base」様の「系統情報」内の「画像一覧」を参考に致しました。(URL→shigen.nig.ac.jp)
41	鶴で恩返し	梶瀬 真	②	3コーン、モヘア	“いい作品作るぞ!”と意気込んで編み始めましたが、作業しながら頭に浮かぶのは感謝の気持ちでした。まずはこの素晴らしい素材を使わせて頂ける機会を与えてくれたこと、何よりこのような素材をこの世に生み出してくれた偉大な先人たち。わたしに編む技術を習得させてくれた両親、編む時間をくれた私の家族。とにかく沢山の感謝を込めた作品です。 群馬県は鶴の形をしているとお聞きしました。群馬県の県土を繋いでドレスにしたい!と編み始めました。それと、これまで触ったことのない艶やかなシルク糸の良さをどのように引き出すことができるのか?を追求しながら編み地を考えました。 すでに存在してるだけで“素晴らしいもの”に手を入れるのはとても難しいと改めて感じました。艶やかなシルクとふんわりしたモヘア糸を合わせてどちらも引き立つように編みました。ニット製品で大事な“軽さ”“柔らかさ”、手編みの良さである“あたたかさ”シルクの艶とモヘアのふんわりを出すためにどの編み方が一番最適か?を考え編みました。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
42	草木染アームウォーマー(着物用)	ひまわり工房	④	1カセ	ジグザグ編みのアームウォーマー(#べっちゃんさんのジグザグ編みより) 最初、1本取り レース針2号で編みましたが、思ったようにならなくて3本取り(混色)に変更しました。(黄2本、白1本の3本取り：かぎ針4号) とても編み易く、思った以上の仕上がりになったと思います。輪にするジグザグ編みは2度目で増目等が慣れていないので模様が少し歪んでしまいました。でも思ったより伸縮性も出て、着物の時に役立ちそうです。今まで真冬はウールのアームウォーマーを使用していましたが、やはり絹は最高ですね。編んでいても気持ち良かったです。
43	癸卯(みずのとう)	laba labatam	④	1コーン オリムパス・金票40、ハマナカ・ハマナカラメ	ぱんだ先生(@varonapuding)です。ぴょんぴょん跳ねて飛躍するモデルのルル子ちゃん。白い兔のお散歩をイメージしました。上州座繰り絹糸を1本取りで1,2mmの超極細針を使用。ヘッドドレスのピンクは40番レース糸とラメ糸を引き揃えています。今年の干支の癸卯は、寒気が緩み萌芽を促す年。コロナ禍以降、停滞していた世の中に希望が芽吹く春が来ます様に。
44	四角いセーター	今西 百合	②	きびそ6カセ	使用した「きびそ」は糸の太さが均一ではないうえ、わた状のものが所々にあったり、ゲージを取りにくく、形を作るのに悩みました。そこで、この作品のためにゲージを取ったり製図をすることもせず、自分サイズのシンプルなプルオーバーの実物大製図を参照しながら行き当たりばったりで編んでいきました。ボトムアップで脇下まで輪に編み、脇下から上は前後身頃を別々に編んで肩はかぶせはぎにし、袖は目を拾って編みつける、という初めての試みに挑戦。失敗だらけで予定とは全く異なる仕上がり。提出するには恥ずかしい出来ですが、ギリギリまで頑張った成果をお届けします。
45	雪の結晶と水晶のラリエット ~Snow crystals and Rock crystals~	くりはらともこ tomoko Tatting	④	1コーン 水晶(ビーズ・結晶)	さまざまな着用方法を楽しめるラリエットをタティングレースで作りました。雪の結晶が舞い落ちる瞬間を切り取ったデザインです。雪の透明感を表すために水晶を組み合わせました。普段は張りのある仕上がりになる細いコットンレース糸を使用することが多いため、シルクの特性を活かした作品にするため苦心しました。独特の光沢感や、首に滑らかに沿うような柔らかさといったシルクの魅力を活かした作品になったのではないかと思います。タティングレースは小さな舟形の道具と手だけで、結び目を作りながらさまざまな形を作る技法です。パーツ間をつなぐ鎖の部分もタティングの技法で作成しました。糸端が見えないような仕上げをしています。
46	方眼編みのストール	安島 美千代	①	1コーン	気品のあるシルクを扱うのは初めてです。慣れていないので無理せずシンプルな方眼編みで仕上げました。
48	Are you ready?	小川 大輔	③	1コーン	ケツアルコアトル「Are you ready?」(ケツアルコアトル…アステカ神話の神 農耕 文化 太陽 火 五穀豊穣) 技法：マクラメ 富岡シルクを3本撚りで使用。草木染・アルミ媒染・西洋茜・桜(ソメイヨシノ)チップ

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
53	イースターバニー	いそべ ゆみ こ	③	1コーン	シルクの糸はとてつやがあり美しいので、あまり手のこんだことはあえてしませんでした。糸そのものの美しさを見てください。糸の繊細さから、小さなイースターバニーをイメージしました。
54	テーブルクロス	永井 文香	④	1コーン	主婦と生活社「美しいレース5 テーブルクロス デザイン/花井寛子さん」を参考に編みました。光沢のある糸がとても美しかったのでレース編みを選びました。テーブルクロスとしましたが、首に巻いてもかわいくあたたかいです。我が家には10カ月の赤ちゃんがいるので、眠っているところに掛けてベビーフォトを撮りたいと思っています。
56	バネポーチ	山田 陽子	④	1コーン内、10g程度 エミーグランデ、 丸小ビーズ	以前、広瀬光治先生がTV番組(すてきにハンドメイド)で紹介していた三角モチーフをリボン状にしてバネポーチを作りました。モチーフ部の裏には色糸を使用して、色かのぞくようにしました。
59	ループ細編みの 雪帽子	けろびょん	④	1カセ ラム入り毛糸20g	昨年突然の病気に見舞われ、治療の影響で頭皮脱毛を体験し、髪の毛の大切さを知りました。冬には気温も下がり寒さを一段と感じ、帽子を娘が編んでくれてとても嬉しかったです。体調も良く、自分でもかわいい帽子を編んでみようと思い挑戦しました。あまり上手にはできませんでしたが、フワフワするループがかわいいので編んでみました。(右横に花をつけてみました) 今度はシルクだけで根気良く編めれば、やわらかいのできることでしょう。次回もできれば挑戦したいです。
61	ベスト	坂井 富枝	②	2コーン、スパン グル	絹糸の白く細い特性を生かし、かぎ編のモチーフを使って、雪の結晶が空から軽く舞い落ちて積もる初雪を表現しました。
63	長袖セーター シュットランドレー ス付け衿	品川 秀子	②	7コーン	セーターは3本で5号針でメリヤス編みです。衿は1本3号針です。仕上げは玉ねぎの皮で染めました。
64	ふわふわストール	久次 恵子	①	1カセ、1コーン 細モヘア、ビーズ ヤーン	2種類の編地を組ませ、手作りならではのデザインです。はぎ目の1部は穴をあけ、首や腕などに通しいろいろな着こなしをできるようにしました。編地を通してずり落ちない様にも使用できます。コートの上から着用しても軽いので着心地も良いと思います。
65	ふわっとショール	サチ	①	1カセ	絹は手触りが良く、光沢があり軽い。そんな絹の特徴(光沢)を活かした編み方をしたいと思いヘアピンレースでショールを編もうと決めました。1カセでどのくらい編めるか想像できなかったもので、サイズは編みながら決めました。ヘアピンレースを縦につないだのはクロッシェ(カギ編み)です。また両サイドははじめと終わりもヘアピンレースのモチーフです。異なる技法も考えてみましたが、作品の統一感を出したくてヘアピンレースにこだわりました。モチーフ部分のループをねじるのが難しく、なかなか同じサイズにならず困りました。モチーフつなぎもツレないように、何回かやり直ししています。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
66	ベスト	有阪 敏江	②	3カセ	絹糸の大変な所、絹糸の良い所を体験しながらモチーフA,B,C3種類 モチーフAは、ワの中に長々編み3目の玉編の間に7目の鎖編みをくり返し12回。2段目は、1段の7目のくさりの中央にピコット作り9目くさりくり返し。3段目は2段目の9目のくさりの中に長編とピコットを組み合せました。モチーフBは、モチーフAの1段目と同じに編み2段目くさり3段目くさりピコット作りしました。モチーフ127枚をつなぎ合わせてとじ、はぎなしで出来上がりました。前後ろどちらでも着る事が出来ますが白のブラウスに短い方を前でと思い作りしました。
67	初めての富岡シルク	鈴木 寿子	①	1カセ、3コーン	柔らかく艶のあるこの糸を四季折々使えるようシンプルなストールにしました。繊細な糸の風合いを出すために何度も編み直しました。くるみボタンを付け、マント風にマーガレット風に着られるように仕上げました。
69	うさぎのバレリーナ Happy Lucky	有賀 年江	③	1カセ、1コーン ソリットアイノー ズパンヤワイ ヤー	今年の干支うさぎがとても縁起の良い動物なので編みました。特別な技法は使っていませんが、ワイヤーを入れたのでポーズがとれます。また衣装はピンク色「原坊のあさがお38代目」(サザン)きいろは玉ねぎで染めました。染色はあまり経験がないので失敗もありましたが、やり直したピンク色はとてかわい色になりました。着換えも出来るのでまたお洋服も作りたいです。光沢の美しい富岡シルク、本体は2本取り(かぎ針2号)、スカートパンツシューズは1本取り(レース2号)で編みました。シルク100%で編むことが今まであまりなかったので良い経験をさせて頂きました。 うさぎさんが世の中に良い運を運んでくれる願いをこめて。そしてご覧頂いた皆様にもHappy Luckyがたくさんありますように。
70	お月見うさぎ	川島 麻由美	③	きびそ2カセ 屏風、畳、ビーズ、サテンリボン、コットン毛糸、刺繍糸、和紙	「きびそ」を見て、昨年よりも編みやすく、またでこぼこある糸が素朴な味わいがあり、可愛らしくあったかい作品にしたいなと思い、真っ白なうさぎ達に仕上げました。仲良くお月見しています。背景の屏風のススキも、きびそならではの味わいできました。満月の中にもキラキラビーズのうさぎがのぞいています。目のビーズを留める糸は、昨年の絹糸の残りを使い、同じシルク素材で違和感ないように仕上げました。
72	ベビードレス (帽子つき)	新井 有希子	②	2コーン きびそ1カセ	ヨークの部分はしっかりとシンプルに、見ごろと袖は模様編みを入れてふんわりと編みました。シルクの光沢が美しく肌ざわりもよい、軽くて、あたたかいドレスに仕上がりました。赤ちゃんの足が動かしやすいように、見ごろの裾はスリットが入っています。ふち編みにもこだわりました。糸が細くてすべりもいいので、編み目を揃えながら編むのが大変でしたが、編みながらシルクの肌ざわりのよさに感動し、幸せな気持ちで編み進めることができました。帽子は、赤ちゃんの大切な頭を守るよう、太い糸の「きびそ」で編みました。それぞれの糸の特徴を生かした作品作りを心がけました。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
74	ミニストール	幸子	①	きびそ1カセ 1コーン(ブルーグ レー)	首まわりを彩るミニストールです。主役はきびその白。製糸場 ギャラリーで見つけたブルーグレーに、コットンのピンク色で小 さな花を咲かせました。着物を着た時の襟元を暖めるためにも使 えたらと思っています。
75	KAGUYA	神山 愛加	①	きびそ4カセ	「歴史ある富岡シルクを後世に残したい」「良質なものを身近に 暮らしたい」という希望を、赤ちゃんのおくるみとして表現しま した。少子高齢化の現代では、子どもたちは未来の担い手です。 いつかは親元から巣立つ子どもたちに、おとぎ話のかぐや姫が重 なり、作品を竹かごに入れました。竹かごには母子手帳を入れ、 巣立ちの時に手渡せる保存ボックスの役割もあります。おくるみ のあとはひざかけとして愛用できます。自分の子どもへ、孫へ、 友人の子どもへ、プレゼントにしてもらいたい一品です。海外の 方にもオススメです。
76	ニューボーンフォ ト用シルクハット	梅澤 優	④	1コーン	長女が生まれるので、最初に肌につけるものは天然素材のシルク でと思い、応募しました。第一回で母が作ってくれたシルクの靴 下とこのクマさんの帽子で、ニューボーンフォトを撮りました！ 富岡シルクの肌ざわり大好きです。
77	丸いミニバッグ	多田 裕美子	④	1コーン シルク色糸	やわらかく軽い糸なので、フリルたくさんの花のバッグを編みた いと思いました。白一色の面は、糸2本取りで編みました。反対 側の中心は、同じ編み方で1本取り。花びらのモチーフは色糸を 引きそろえて編み、縫い止めました。持ち手&側面は連続モチ ーフで2本編み、接点を縫いました。工夫したところは、形を整 える為、マチ部分にクリアファイルを切って入れ、安定させまし た。
79	ネックレス	編み物大 好きおば さん	④	1コーン	100%シルクの糸を初めて見ました。この素晴らしい艶を生かす ためにはどうしたら良いのか悩みました。棒針やかぎ針で1本取 りで試みましたが、やわらかい糸ではどうしてもうまくいかず、 結果2本取りでモチーフを編むことにしました。1枚編んだモ チーフの光沢はこれ1つでもう十分の価値があるのでは、と思 いました。表のみならず裏の艶も素晴らしいです。シンプルです が、表裏両方見せることが出来るようつけて使いたいと思 います。
80	幸せうさぎ	小山 揚子	③	1コーン	富岡シルク2本取り2/0号かぎ針で、うさぎのあみぐるみを編みま した。ベストは毛糸でメッシュワークしました。ビーズで可愛く させました。幸せうさぎです。
81	ビーズボールの つけ衿	松浦 智子	①	1コーン	初めてシルクの糸で編むことに挑戦しました。まずは小さい物か らと思い、つけ衿にしました。ボタンの代わりにビーズボールを 作り、付けました。スタンドカラーのフリルの衿やビーズ使いに したところが気に入っています。シルクの光沢がステキで、コー ディネイトのワンポイントになると思います。

No	作品名	出展者名	部門	使用素材	作品について
82	マイファースト グランドチャイルド	町田 真生子	②	3コーン	“富岡シルク”に出会ったのは、待ちに待った初孫誕生の知らせを聞いて間もなくでした。日増しに大きくなる娘のおなかに語りかけながら、心弾ませセレモニードレスの制作に取りかかったのです。光沢のある絹糸の特徴を生かし、ヨークはかぎ針で1本取り、そのほかは棒針で2本取りの華やかな模様編みで、孫の顔を思い浮かべながら、ひと針ひと針、編み進めました。
83	“Plus souriant!” ブローチ	平山 和香子	④	1コーン きびそ1カセ ガラスビーズ、金 属(ブローチ金具 他)	座繰り絹糸、きびそを組み合わせ、それぞれの質感を活かしてブローチに仕上げました。身に着けた人が幸せな気持ちになってくれたら…という願いを込めて、フランス語で「もっと笑顔に」という意味の“Plus souriant!”(プレスリアン)と名付けました。
85	ショール	のんきちママ	①	2コーン	“一年中楽しめる透かし編みの模様82”から、模様を合わせて、初めてショールを編みました。模様を考えて編む事の大変さ、シルクのスベスベした感じで、何度も落としてしまったので、考えたものより少し小さめになりました。
86	メッシュワークの ポシェット	藤谷 恵美子	④	1カセ	シルク糸を使って、初めてメッシュワークに挑戦しました。広瀬光治先生のYouTubeにて紹介しているレースのバッグです。二ヶ月かけて編みました！ちょっとしたお出掛けに使いたいと思っています。
87	シルクのバッグ	真部 君恵	④	1カセ	富岡シルクにはじめてふれた時、真珠のようにキラキラ輝いて見えました。この糸で何を作ろうかとワクワクでした。広瀬先生のインスタを見ながら編み始めたのですが、花のモチーフの立体感など出来上がりが次第に形になって楽しみでした。花と葉の配置もむずかしく、バッグにした時、この位置でいいのかと悩んだものでした。又、花と葉をつなぐボタンホールかがりなど、思ったよりむずかしいものでした。後期高齢者になっても新しいものに挑戦する気持ちで編みました。世界遺産の富岡製糸場には一度訪れたいと思っています。

※本状はエントリーシートを基に作成しています。



一般社団法人 富岡シルク推進機構

〒370-2316 群馬県富岡市富岡33-4(旧葦塚製糸場内)

TEL 0274-67-7355 FAX 0274-67-7518

<https://www.tomioka-silkbrand.jp/>

オンラインショップもございます

